

# 北海道建設部土木工事共通仕様書

## 新旧対照表

「北海道建設部土木工事共通仕様書（令和5年10月版）」を一部改定し、令和6年7月1日以後に入札する工事から適用する。

新旧対照表欄外記号の説明

- ◎ 重要な変更
- 標準的な変更
- △ 軽微な変更、誤植等

北海道建設部建設政策局建設管理課

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和5年10月版	(旧) 令和5年10月版	頁 新(旧)																																																																																																									
<p><b>第3章 一般施工</b></p> <p><b>第6節 一般舗装工</b></p> <p><b>1-3-6-2 アスファルト舗装の材料</b></p> <p>1～14. (省略)</p> <p>15. 表3-18、3-19に示す種類以外の混合物のマーシャル安定度試験の基準値及び粒度範囲は、設計図書によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">表3-18 マーシャル安定度試験基準値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>混合物の種類</th> <th>粗粒度 アスファルト 混合物 (20)</th> <th>密粒度 アスファルト 混合物 (13F)</th> <th>細粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)</th> <th>細粒度 アスファルト 混合物 (13F)</th> <th>密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)</th> <th style="color: red;">細密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F55)</th> <th>細粒度 アスファルト 混合物 歩道用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>突固め回数</td> <td colspan="2">N<sub>6</sub>交通以上</td> <td colspan="2">75</td> <td colspan="2" style="color: red;">75</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">N<sub>5</sub>交通以下</td> <td colspan="2">50</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空隙率(%)</td> <td>3～7</td> <td>3～5</td> <td>3～5</td> <td>2～5</td> <td>3～5</td> <td style="color: red;">3～5</td> <td>3～10</td> </tr> <tr> <td>飽和度(%)</td> <td>65～85</td> <td>75～85</td> <td>75～85</td> <td>75～90</td> <td>75～85</td> <td style="color: red;">75～85</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安定度(KN)</td> <td>4.90 以上</td> <td>4.90 [7.35] 以上</td> <td>4.90 [7.35] 以上</td> <td>3.43 以上</td> <td>4.90 [7.35] 以上</td> <td style="color: red;">7.35 以上</td> <td>3.43 以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値(1/100cm)</td> <td colspan="2">20～40</td> <td>20～80</td> <td>20～40</td> <td colspan="2" style="color: red;">20～40</td> <td>20～60</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] (1) 積雪寒冷地域の場合や、N<sub>6</sub>交通であっても流動によるわだち掘れのおそれが少ないところでは突固め回数を50回とする。</p> <p>(2) [ ] 内は、N<sub>6</sub>交通以上で突固め回数を75回とする場合の基準値を示す。</p>	混合物の種類	粗粒度 アスファルト 混合物 (20)	密粒度 アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 アスファルト 混合物 (13F)	密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F55)	細粒度 アスファルト 混合物 歩道用	突固め回数	N <sub>6</sub> 交通以上		75		75		50		N <sub>5</sub> 交通以下		50					空隙率(%)	3～7	3～5	3～5	2～5	3～5	3～5	3～10	飽和度(%)	65～85	75～85	75～85	75～90	75～85	75～85	—	安定度(KN)	4.90 以上	4.90 [7.35] 以上	4.90 [7.35] 以上	3.43 以上	4.90 [7.35] 以上	7.35 以上	3.43 以上	フロー値(1/100cm)	20～40		20～80	20～40	20～40		20～60	<p><b>第3章 一般施工</b></p> <p><b>第6節 一般舗装工</b></p> <p><b>1-3-6-2 アスファルト舗装の材料</b></p> <p>1～14. (省略)</p> <p>15. 表3-18、3-19に示す種類以外の混合物のマーシャル安定度試験の基準値及び粒度範囲は、設計図書によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">表3-18 マーシャル安定度試験基準値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>混合物の種類</th> <th>粗粒度 アスファルト 混合物 (20)</th> <th>密粒度 アスファルト 混合物 (13F)</th> <th>細粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)</th> <th>細粒度 アスファルト 混合物 (13F)</th> <th>密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)</th> <th>細粒度 アスファルト 混合物 (歩道用)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>突固め回数</td> <td colspan="2">N<sub>6</sub>交通以上</td> <td colspan="2">75</td> <td colspan="2">50</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">N<sub>5</sub>交通以下</td> <td colspan="2">50</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>空隙率(%)</td> <td>3～7</td> <td>3～5</td> <td>3～5</td> <td>2～5</td> <td>3～5</td> <td>3～10</td> </tr> <tr> <td>飽和度(%)</td> <td>65～85</td> <td>75～85</td> <td>75～85</td> <td>75～90</td> <td>75～85</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安定度(KN)</td> <td>4.90 以上</td> <td>4.90 [7.35] 以上</td> <td>4.90 [7.35] 以上</td> <td>3.43 以上</td> <td>4.90 [7.35] 以上</td> <td>3.43 以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値(1/100cm)</td> <td colspan="2">20～40</td> <td>20～80</td> <td>20～40</td> <td colspan="2">20～60</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注] (1) 積雪寒冷地域の場合や、N<sub>6</sub>交通であっても流動によるわだち掘れのおそれが少ないところでは突固め回数を50回とする。</p> <p>(2) [ ] 内は、N<sub>6</sub>交通以上で突固め回数を75回とする場合の基準値を示す。</p>	混合物の種類	粗粒度 アスファルト 混合物 (20)	密粒度 アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 アスファルト 混合物 (13F)	密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 アスファルト 混合物 (歩道用)	突固め回数	N <sub>6</sub> 交通以上		75		50			N <sub>5</sub> 交通以下		50				空隙率(%)	3～7	3～5	3～5	2～5	3～5	3～10	飽和度(%)	65～85	75～85	75～85	75～90	75～85	—	安定度(KN)	4.90 以上	4.90 [7.35] 以上	4.90 [7.35] 以上	3.43 以上	4.90 [7.35] 以上	3.43 以上	フロー値(1/100cm)	20～40		20～80	20～40	20～60		<p>I-1-3-70 (I-1-3-70)</p> <p>◎細密粒度ギャップアスコンの基準値を追加</p>
混合物の種類	粗粒度 アスファルト 混合物 (20)	密粒度 アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 アスファルト 混合物 (13F)	密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F55)	細粒度 アスファルト 混合物 歩道用																																																																																																				
突固め回数	N <sub>6</sub> 交通以上		75		75		50																																																																																																				
	N <sub>5</sub> 交通以下		50																																																																																																								
空隙率(%)	3～7	3～5	3～5	2～5	3～5	3～5	3～10																																																																																																				
飽和度(%)	65～85	75～85	75～85	75～90	75～85	75～85	—																																																																																																				
安定度(KN)	4.90 以上	4.90 [7.35] 以上	4.90 [7.35] 以上	3.43 以上	4.90 [7.35] 以上	7.35 以上	3.43 以上																																																																																																				
フロー値(1/100cm)	20～40		20～80	20～40	20～40		20～60																																																																																																				
混合物の種類	粗粒度 アスファルト 混合物 (20)	密粒度 アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 アスファルト 混合物 (13F)	密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 アスファルト 混合物 (歩道用)																																																																																																					
突固め回数	N <sub>6</sub> 交通以上		75		50																																																																																																						
	N <sub>5</sub> 交通以下		50																																																																																																								
空隙率(%)	3～7	3～5	3～5	2～5	3～5	3～10																																																																																																					
飽和度(%)	65～85	75～85	75～85	75～90	75～85	—																																																																																																					
安定度(KN)	4.90 以上	4.90 [7.35] 以上	4.90 [7.35] 以上	3.43 以上	4.90 [7.35] 以上	3.43 以上																																																																																																					
フロー値(1/100cm)	20～40		20～80	20～40	20～60																																																																																																						

# 北海道建設部土木工事共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和5年10月版								(旧) 令和5年10月版								頁 新(旧)
表3-19 アスファルト混合物の種類と粒度範囲								表3-19 アスファルト混合物の種類と粒度範囲								I-1-3-70 (I-1-3-70) ◎細密粒度ギャップアスコンの基準値を追加
混合物の種類	粗粒度 アスファルト 混合物 (20)	密粒度 アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 アスファルト 混合物 (13F)	密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	<u>細密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F55)</u>	細粒度 アスファルト 混合物 歩道用	混合物の種類	粗粒度 アスファルト 混合物 (20)	密粒度 アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 アスファルト 混合物 (13F)	密粒度 ギャップ アスファルト 混合物 (13F)	細粒度 アスファルト 混合物 (歩道用)		
仕上がり厚cm		4~6	3~5	3~5	3~4	3~5	3~4	仕上がり厚cm		4~6	3~5	3~5	3~4	3~5	3~4	
最大粒径 mm		20	13	13	13	13	13	最大粒径 mm		20	13	13	13	13		
通過 質量 百分 率 %	26.5 mm	100						26.5 mm	100							
	19 mm	95~100	100	100	100	100	100	19 mm	95~100	100	100	100	100	100	100	
	13.2 mm	70~90	95~100	95~100	95~100	95~100	95~100	13.2 mm	70~90	95~100	95~100	95~100	95~100	95~100	95~100	
	4.75 mm	35~55	52~72	60~80	75~90	45~65	52~72	4.75 mm	35~55	52~72	60~80	75~90	45~65	75~95		
	2.36 mm	20~35	40~60	45~65	65~80	30~45	35~55	2.36 mm	20~35	40~60	45~65	65~80	30~45	65~85		
	600 μm	11~23	25~45	40~60	40~65	25~40	32~50	600 μm	11~23	25~45	40~60	40~65	25~40	40~65		
300 μm	5~16	16~33	20~45	20~45	20~40	20~40	300 μm	5~16	16~33	20~45	20~45	20~40	20~45			
150 μm	4~12	8~21	10~25	15~30	10~25	10~25	150 μm	4~12	8~21	10~25	15~30	10~25	8~30			
75 μm	2~7	6~11	8~13	8~15	8~12	8~13	75 μm	2~7	6~11	8~13	8~15	8~12	4~12			
アスファルト量 %		4.5~6	5~7	6~8	7.5 ~9.5	5.5~7.5	6.0 ~6.3	アスファルト量 %		4.5~6	5~7	6~8	7.5~9.5	5.5~7.5		
<p>16. プライムコートで使用する石油アスファルト乳剤は、設計図書に示す場合を除き、JIS K 2208 (石油アスファルト乳剤) のPK-3の規格に適合するものとする。</p> <p>17. タックコートで使用する石油アスファルト乳剤は、設計図書に示す場合を除き、JIS K 2208 (石油アスファルト乳剤) のPK-4の規格に適合するものとする。</p> <p>18. 加熱アスファルト安定処理路盤材は、表3-20に示すマーシャル安定度試験基準値に適合するものとする。供試体の突固め回数は両面各々50回とするものとする。</p> <p>19. 加熱アスファルト安定処理路盤材の骨材の粒度は表3-21を標準とする。再生加熱アスファルト安定処理混合物についても適用する。</p>								<p>15. プライムコートで使用する石油アスファルト乳剤は、設計図書に示す場合を除き、JIS K 2208 (石油アスファルト乳剤) のPK-3の規格に適合するものとする。</p> <p>16. タックコートで使用する石油アスファルト乳剤は、設計図書に示す場合を除き、JIS K 2208 (石油アスファルト乳剤) のPK-4の規格に適合するものとする。</p> <p>17. 加熱アスファルト安定処理路盤材は、表3-20に示すマーシャル安定度試験基準値に適合するものとする。供試体の突固め回数は両面各々50回とするものとする。</p> <p>18. 加熱アスファルト安定処理路盤材の骨材の粒度は表3-21を標準とする。再生加熱アスファルト安定処理混合物についても適用する。</p>								I-1-3-71 (I-1-3-71) △項目番号の修正 (誤植)

令和6年7月1日以降に入札する工事から適用（追加事項：赤）

第1編 共通編 第1章 総則

表3-18 マーシャル安定度試験基準値

混合物の種類	粗粒度	密粒度	細粒度	細粒度	密粒度	細密粒度	細粒度	
	アスファルト混合物 (20)	アスファルト混合物 (13F)	ギャップアスファルト混合物 (13F)	アスファルト混合物 (13F)	ギャップアスファルト混合物 (13F)	ギャップアスファルト混合物 (13F55)	アスファルト混合物 歩道用	
突固め回数	N <sub>c</sub> 交通以上	75					75	50
	N <sub>c</sub> 交通以下	50						
空隙率(%)	3~7	3~5	3~5	2~5	3~5	3~5	3~10	
飽和度(%)	65~85	75~85	75~85	75~90	75~85	75~85	—	
安定度(KN)	4.90 以上	4.90 [7.35] 以上	4.90 [7.35] 以上	3.43 以上	4.90 [7.35] 以上	7.35 以上	3.43 以上	
	フロー値(1/100cm)	20~40		20~80	20~40	20~40	20~60	

[注] (1) 積雪寒冷地帯の場合や、N<sub>c</sub>交通であっても流動によるわだち掘れのおそれが少ないところでは突固め回数を50回とする。

(2) [ ] 内は、N<sub>c</sub>交通以上で突固め回数を75回とする場合の基準値を示す。

表3-19 アスファルト混合物の種類と粒度範囲

混合物の種類	粗粒度	密粒度	細粒度	細粒度	密粒度	細密粒度	細粒度
	アスファルト混合物 (20)	アスファルト混合物 (13F)	ギャップアスファルト混合物 (13F)	アスファルト混合物 (13F)	ギャップアスファルト混合物 (13F)	ギャップアスファルト混合物 (13F55)	アスファルト混合物 歩道用
仕上がり厚cm	4~6	3~5	3~5	3~4	3~5	—	3~4
最大粒径 mm	20	13	13	13	13	13	
通過質量百分率	26.5 mm	100					
	19 mm	95~100	100	100	100	100	100
	13.2 mm	70~90	95~100	95~100	95~100	95~100	95~100
	4.75 mm	35~55	52~72	60~80	75~90	45~65	75~95
	2.36 mm	20~35	40~60	45~65	65~80	30~45	65~85
	600 μm	11~23	25~45	40~60	40~65	25~40	40~65
率	300 μm	5~16	16~33	20~45	20~45	20~40	20~45
	150 μm	4~12	8~21	10~25	15~30	10~25	8~30
%	75 μm	2~7	6~11	8~13	8~15	8~12	4~12
アスファルト量 %	4.5~6	5~7	6~8	7.5 ~9.5	5.5~7.5	6.0 ~6.3	

令和6年7月1日以降に入札する工事から適用（追加事項：赤）

第1編 共通編 第1章 総則

- プライムコートで使用する石油アスファルト乳剤は、設計図書に示す場合を除き、JIS K 2208（石油アスファルト乳剤）のPK-3の規格に適合するものとする。
- タックコートで使用する石油アスファルト乳剤は、設計図書に示す場合を除き、JIS K 2208（石油アスファルト乳剤）のPK-4の規格に適合するものとする。
- 加熱アスファルト安定処理路盤材は、表3-20に示すマーシャル安定度試験基準値に適合するものとする。供試体の突固め回数は両面各々50回とするものとする。
- 加熱アスファルト安定処理路盤材の骨材の粒度は表3-21を標準とする。再生加熱アスファルト安定処理混合物についても適用する。

表3-20 マーシャル安定度試験基準値

混合物の種類	加熱アスファルト安定処理混合物
突固め回数(回)	50
空隙率(%)	3~12
安定度(kN)	3.43以上
フロー値(1/100cm)	10~40

[注] 25mmを超える骨材部分は、同質量だけ25mm~13mmで置き換えて、マーシャル安定度試験を行う。

表3-21 加熱アスファルト安定処理の粒度範囲

混合物の種類	加熱アスファルト安定処理混合物	
仕上がり厚cm	5~6	
通過質量百分率	53 mm	
	37.5 mm	100
	31.5 mm	95 ~ 100
	26.5 mm	65 ~ 90
	13.2 mm	45 ~ 75
	2.36 mm	20 ~ 50
75 μm	0 ~ 7	
%		

### 1-3-6-3 コンクリート舗装の材料

- コンクリート舗装工で使用する材料について、以下は設計図書によるものとする。
  - アスファルト中間層を施工する場合のアスファルト混合物の種類
  - 転圧コンクリート舗装の使用材料
- コンクリート舗装工で使用する以下の材料等は、1-3-6-2 アスファルト舗装の材料の規格に適合するものとする。
  - 上層・下層路盤の骨材
  - 加熱アスファルト安定処理に使用する材料及びアスファルト混合物